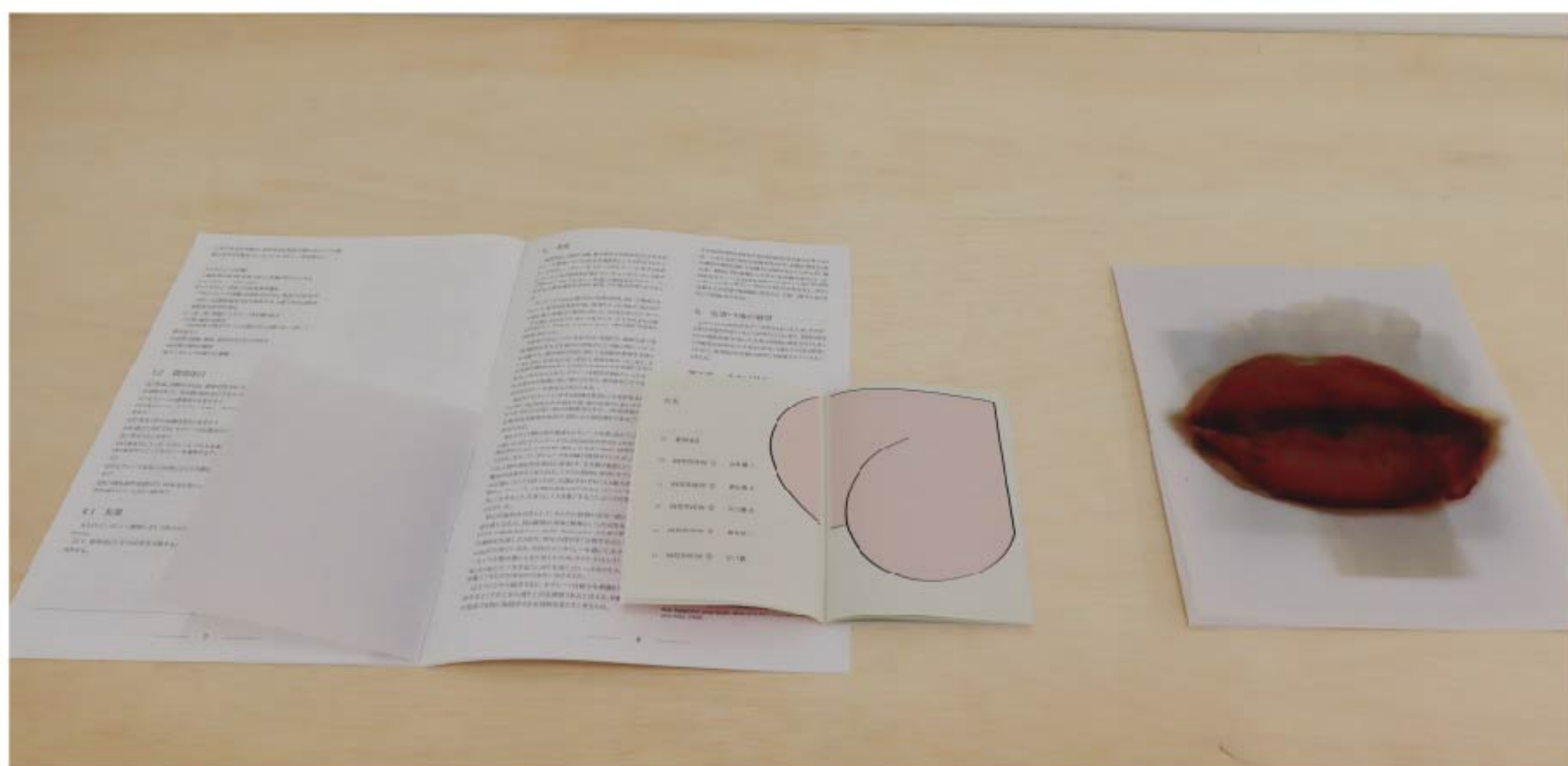


關 茵茵 KWAN YANYAN



セクシーに関するリサーチ

紙にデジタル出力、シルク、革、レース、糸、映像



セクシーに関するリサーチ

セクシーは人間の感情であり、外部刺激に対する人間の感情を表す用語である。セクシーという言葉は1905年に最初に使用され始め、その意味は性的欲求、性的誘惑として解釈することができる。セクシーはもともと14世紀ラテン語の *sexus* からのもので、これらの言葉はセックスに由来している。この言葉の最初の意味は分割 (DIVISION)、つまり同じものを2つに分割することであり、人を男性と女性とで分けることに通ずる。それから1894年に *Sexful* という言葉が使われ始め、1905年あたりに *Sexy* という言葉が生まれた。このことからセクシーは男性と女性に関連しており、性的魅力はセクシーであると言える。また、セクシーの本質にはセックスがあり、両者は不可分な存在だと考えられる。初めのセクシーは男女が互いに与える感受を記述するため使用された。しかし、時代の変遷により、「セクシー」という言葉の使われ方やその意味合いに大きな変化が生じた。また、時代の流れだけでなく国や地域ごとでの文化、宗教といった文脈の違いから「セクシー」という言葉の解釈が変わると考えられる。一方、地域が変わればその性に対して見る目は大きく異なる。特に、近年においてはLGBTQ+を始めとした多様な性のあり方が受け入れられる様になり、また性差別を懸念したヴィクトリアズ・シークレットが「エンジェルス」を廃止するなど、今までの固定概念的ルッキズムから社会が脱却しようとする動きも増加している。こうした多様な社会の中での「セクシー」とは何なのか、また人々はどのような要素にセクシーを感じるのかという疑問が生まれ、本研究を始めるに至った。

本研究には日本の現代社会が持つセクシーに対する意識を調査分析することで、時代と共に変化するセクシーの定義と多様性を明らかにし、「セクシー」の多様な可能性と抽象的な要素を見つけ、人々に色々な視点や考え方を提供し、これからの研究の理論的な基盤の参考になればと考える。